

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立三ツ池公園

指定管理者 : 横浜緑地・西武造園・協栄グループ

施設所管課(事務所名) : 横浜川崎治水事務所

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月30日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
11月	12月10日	12月28日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
12月	1月11日	1月31日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
1月	2月10日	2月28日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
2月	3月10日	3月28日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
3月	4月11日	4月14日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

- ・三ツ池の桜を100年後にも継承するため、更新計画を立案、計画的な育生を行う。また、秋桜(コスモス)を導入し、公園の魅力アップを図る。
- ・三ツ池の水質改善に取り組み、市民ボランティアと連携して在来生物の保全に努めるとともに、生物多様性確保の取り組みを実践する。
- ・多様な方面で活動される方々に利用していただくような地域交流の拠点づくりを目指し、共催事業として積極的に参加するほか、意見交流を行うなど公園サイドからコミュニケーションを図る。
- ・斜面林と水系を生かした公園の水・みどりの自然環境を保全し、地域の生物を育む管理を行い、池周辺の適切な樹木管理を行う。
- ・公園利用者等と相互の情報共有を推進し、多様化するニーズに対応する野外活動拠点に努める。
- ・利用者や地域と協働し、安全、安心、快適な公園づくりに取り組むことを念頭に、地域と連携した防犯対策・防災訓練を実施する。

<実施状況>

- ・サクラ品種苗木(現在三ツ池公園に無い種類)を数年後に公園内に定植することを目的に旧分区園に仮植した。また、樹木医による桜の管理調査を基に、オーガーによる施肥を実施した。コスモス畑の実験も試みた。
- ・ボランティアと協働で外来魚防除を延べ5,400余名の参加で計画通り17回実施、外来魚ブルーギルを48,000余匹捕獲した。2月には中の池の掻い掘りを国交省関東地方整備局等行政からの参加やテレビ取材を得て実施した。また、7月には三ツ池公園フォーラム2010「生物多様性を探る～生きもの賑わう公園に～」をテーマに来園者の参加で実施した。
- ・“三ツ池公園文化・環境フェスティバル”、“地域ふれあいまつり”、“コリア・マダン”等を地域交流事業として共催した。また、意見交流の場である「楽しいおつきあい企画会議」を四半期毎に開催し、情報誌「いけいけ三ツ池」を発行した。
- ・「パークコーディネーター」を配し、公園利用者の声を事業運営に反映した。安全・安心面では、防火カメラを随所に設置するとともに、11月に「三ツ池公園自衛消防隊」を結成、万が一に備え消防訓練を実施した。これらの消防行政への積極的な参画・協力を讃えられ、鶴見消防署長より感謝状を授与された。また、プール開設に先立ち、「水上安全法講習会」を実施し、従事するスタッフの技術・知識向上及び利用者の安全意識の向上を図った。開催中は「人工呼吸講座」「応急手当教室」「水慣れワンポイントレッスン」等を随時開催し、事故防止に努めた。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)			
年間予算額	122,496	71,715	11,460 (11,460)	39,321 (33,987)	122,496	0
上半期計 (a)	74,401	40,125	9,625 (8,748)	24,651 (23,278)	61,894	12,507
下半期計 (b)	46,841	31,590	3,706 (3,621)	11,545 (13,291)	60,266	-13,425
10月	9,253	5,580	799 (803)	2,874 (2,975)	12,617	-3,364
11月	8,788	5,428	688 (612)	2,672 (2,528)	6,947	1,841
12月	7,439	5,640	536 (510)	1,263 (1,158)	9,341	-1,902
1月	6,560	4,830	535 (524)	1,195 (1,451)	7,363	-803
2月	6,516	4,762	540 (511)	1,214 (979)	8,141	-1,625
3月	8,285	5,350	608 (661)	2,327 (4,200)	15,857	-7,572
合計 (a+b)	121,242	71,715	13,331 (12,369)	36,196 (36,569)	122,160	-918

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

- ・利用料金収入の実績額は、計画額を上まわるとともに、前年実績額と比較しても上まわった。
- ・駐車場収入の実績額は、計画額を下まわるとともに、前年実績額をも下まわった。これは、3月末まで寒く、桜の開花が遅れたことや東日本大震災等の影響によるものと思われる。
- ・支出の実績額は、計画額を僅かに下まわったものの、収入実績額が計画額を下まわったが、企業努力により支出額の削減に努めた。

（今期に行った資本的な収入及び支出の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	868,904人	1,017,566人	△14.6%
下半期計 (b)	364,292人	451,466人	△19.3%
10月	69,274人	61,054人	13.5%
11月	61,189人	57,599人	6.2%
12月	46,333人	43,117人	7.5%
1月	38,152人	42,908人	△11.1%
2月	35,875人	32,623人	10.0%
3月	113,469人	214,165人	△47.0%
合計 (a+b)	1,233,196人	1,469,032人	△16.1%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

・前年利用者数を下まわった。これは、3月末まで寒く、桜の開花が遅れたことや東日本大震災等の影響によるものと思われる。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	3	2				5
11月	1	1				2
12月	1		1			2
1月	2					2
2月	3					3
3月	2	3				5

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月	1	1	2
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・大震災節電中、園路灯も同様にすべき。	節電を実施した。
	・多目的広場からの砂塵で洗濯物が汚れる。	施設利用者の協力を仰ぎ、散水を実施。
職員対応	・刈払い機の跳ねた小石が来園者に当たる。	謝罪し、防護ネットを使用した。
事業内容	・駐車場の繁忙期料金は、施設利用者には高い。	要望として受付。
その他	・施設利用の抽選方法に疑問。	県全体のシステムなので公平である。
	・売店に禁煙表示があるにもかかわらず喫煙	喫煙者に注意するよう指定管理者を指導

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
11月 3日	駐車場出口開閉バー折られる。
12月 17日	花の広場で焚き火をしていた少年を警察に通報し、2名が補導される。
3月 22日	自動販売機5台が放火される。

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		「特になし」	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>強風が吹き多目的広場から土埃が多く飛び苦情を受け、朝・昼等利用時間の合間に、スプリンクラーで散水を行った。利用時間の節目にも散水を行った。</p> <p>大震災に伴う節電を行い、園内灯、事務所照明、トイレ一部使用中止等節電中を実施した。</p> <p>自動販売機の釣銭口を放火される事件が起こったため、夜間警備員を増員し、最寄りの警察署へパトロール強化等を依頼した。</p>
施設所管課	<p>鶴見警察署及び近隣中学校等に悪戯防止の協力依頼により、公園施設への悪戯は減ってきているが、自販機の釣銭口に放火して釣銭を盗もうとする事件が発生している。今後警備体制の見直しが必要である。</p> <p>パークセンター内の休憩・展示コーナーは閑散として活気がないため、公園のメイン施設であることから、有効活用を図り、活性化するための検討をする必要がある。</p>